News from Onishi Junior High School

鬼石中だより

自立・貢献

藤岡市立鬼石中学校
令和5年度学校だより　第3号
令和５年６月９日
文責：校長　永田

＊ 校内陸上記録会 6/8 ＊

昨年度は猛暑の中での記録会となったことを鮮明に覚えていますが、今年度は落ち着いた天候のもと開催することができました。生徒は、競技や応援で最高のパフォーマンスを披露しました。入場行進やラジオ体操の素晴らしさはもとより、個人種目に取り組む生徒一人一人の真剣な表情に感動しました。まさに、美しくカッコよく、とてもキラキラしているように見えました。総合優勝は、昨年度に引き続き青桐団となりましたが、椨の木団、桜団も僅差で涙をのんだ形となりました。PTA会長をはじめ保護者の皆様の応援ありがとうございました。

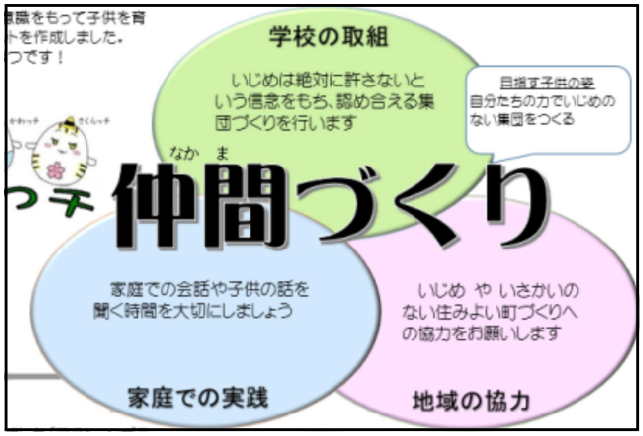
総合優勝した青桐団の入場行進

生徒会種目８の字跳びで優勝した桜団

全員リレー・選抜リレーを制した椨の木団

＊ 人権集中学習 6/6～23 ＊

前期人権集中学習が始まりました。小中学校で決めたテーマは「自分たちの力で認め合える仲間づくりをしよう」です。これは、学校運営協議会がつくったアクションプランの重点の一つに当てはまります。



いじめに関する生徒へのアンケート結果から、ほとんどの生徒が「いじめはどんなことがあってもダメ」と回答しましたが、「いじめのない集団や社会をつくることができるか？」の問いに対しては、6割がYES、4割がNOと回答しました。つまり、いじめのない集団や社会を望んではいるが、きっと無理だろうとあきらめている生徒が多いと推測されます。正直に回答してくれた生徒の気持ちを踏まえ、校長から、「他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる」という言葉と共に、一人一人が少しずつ変われば全体が変わることを話しました。これからの鬼石地区や日本をつくっていく生徒が、誰もが取り残されない温かい社会の担い手になってほしいと切望します。

＊ 校内少年の主張大会 6/6 ＊

1年生3名、2年生2名、3年生3名の生徒が、学年の代表者として校内大会に出場しました。

「私をつくるのは」

自分の周りにいる人たち、支えてくれる人々との出会いを大切にしていきたいという思いを発表しました。

「自分らしく生きられる未来」

一人一人の特性や個性が理解され尊重される社会を実現することの大切さについて発表しました。

「チアスピリットが自分を助ける」

自分が、チアリーディングを通して学んだ、誰かを応援すること、笑顔にすることの大切さについて発表しました。

「私たちにできること」

いじめ問題について、特に傍観者がどのように振る舞うべきかについて自分の思いを発表しました。

「スポーツでみんなが輝く世界」

障がいのあるなしに関わらず、誰もが平等にスポーツを通して輝けるパラスポーツのことについて発表しました。

「人と繋がる魔法の言葉」

あいさつがもたらす気持ちの変化について考察し、相手にきちんと届くあいさつをすることの大切さについて発表しました。

「はばたく未来」

新体操競技を通して、スランプなどの壁にぶつかったときの経験から、そのときの大切な心のありようについて発表しました。

「嘘」

自分を守るためにつく嘘、相手の気持ちを気遣うためにつく嘘、同じ嘘でも大きな違いがあるという視点からの発表でした。

8名の生徒の発表内容や態度はとても立派で感心しました。

中学生らしい新鮮な感性によって様々なテーマが語られていたことがとても良かったと思います。また、聞き手の生徒もとても真剣な態度で臨んでいました。人権集中学習期間中でもあり、自分の考えと発表者の考えを比較しながら聞くことで、全校生徒にとってとても有意義な時間になったと思います。

＊ 教育実習生が来ています ＊

5月29日から2名の実習生が教育実習に来ています。教科は、社会と英語です。6月16日が最終日となります。鬼石中学校の生徒のために、授業やその準備、陸上記録会の運営など一生懸命に頑張っています。本校での実習経験を生かし、我が国の教育界を力強く担っていってほしいと思います。